

令和3年度収蔵品展

熊谷陸軍飛行学校の記憶

桶川飛行学校平和祈念館では、常設展で展示している資料以外にも多くの資料を収蔵しています。今回は桶川市が毎年8月に実施している「平和を考える10日間」事業に関連し、普段、皆さんの目に触れることのないこれらの資料を展示し、熊谷陸軍飛行学校について紹介します。



熊谷陸軍飛行学校



軍隊手帳



石製手りゅう弾

展示期間 令和3年7月13日（火）から
令和3年8月22日（日）まで

月曜日・7月31日（土）・8月10日（火）は休館と
なります。※8月9日（月・祝）は開館します。

開館時間 午前9時～午後4時30分

入館料 無料



桶川飛行学校平和祈念館

〒363-0027

埼玉県桶川市大字川田谷2335番地の16

電話：048-778-8512

Mail：hikogakko@city.okegawa.lg.jp

○電車でお越しの場合

JR高崎線桶川駅西口より東武バス「川越駅行き」乗車→
「柏原」バス停下車 徒歩5分

○車でお越しの場合：桶川北本ICより車で10分
県道12号線太郎右衛門橋の側道へ入る。

I. 熊谷陸軍飛行学校

熊谷陸軍飛行学校は1935(昭和10)年12月、
おおさと みしり

大里郡三尻村（現、熊谷市）に陸軍航空兵の養成所として設置されます。少年航空兵に対する一般軍事教養と操縦教育、下士官学生や特別操縦見習士官などに対する操縦教育の他、操縦に関する調査・研究を行いました。



作戦要務教程



航空胸章 等

II. 飛行学校での日々

飛行学校では操縦以外にも航空力学や飛行機学、地形学や気象学などの学科や、身体の鍛錬としてフープでの訓練や航空準備体操などがあり、飛行機の操縦に必要な能力を重点的に鍛えていました。

こうした訓練の日々の中、休日の外出や、家族との面会は、生徒たちにとって貴重な息抜きの時間でした。



航空準備体操



家族との面会

III. 各地の熊谷陸軍飛行学校

熊谷陸軍飛行学校は、航空兵養成の中核を担う組織として、各地に分教場が設置されていきます。分教場は上田（長野県）、新田原（宮崎県）など国内のみならず朝鮮半島や満州にも設置されました。その後分教場は日々変化する戦況の中で、機能の移転や再編を繰り返していきます。

こうして多くの飛行学校やその分教場が設置されましたが、現在その姿をとどめているものは少ないです。



上田分教場



桶川分教場

IV. 記憶を伝える

熊谷陸軍飛行学校の跡地は、1958(昭和33)年に航空自衛隊熊谷基地が開設されます。基地内の教育参考館には旧陸軍の資料が保管されています。

桶川市では、桶川飛行学校平和祈念館の運営のほか、「平和を考える10日間」事業の一環として、市民の方から戦争体験を募集し、戦争体験記『いのちの伝言』として刊行しています。

戦後、76年が経ち、戦争を体験した方が少なくなる中、どのように戦争の記憶を後世へ伝えていくのかが、問われています。



操縦徽章



『いのちの伝言』